

## 令和5年 年頭の挨拶

年頭挨拶  
一般缶の優位性を  
関連業界と連携し  
アピール全日本一般缶工業団体連合会 会長  
東日本一般缶工業協同組合 理事長

廣瀨 泰久



明けましておめでとうございます。  
令和5年の年頭にあたりまして、一言ご挨拶させていただきます。

コロナ禍も未だ収束したとはいえ、一般缶の販売量もコロナ前には戻っていない状況が続いています。それ以上に一般缶業界に大きな打撃となってきたのは3回にわたる鋼材値上げで、特に第3次値上げは、その金額がかつてないほどの大きさです。そのため、価格転嫁が遅れば命取りにもなりかねません。ただ、他素材容器への代替のリスクもあり、皆様は大変にご苦労されていることと存じます。

そうした喫緊の課題を念頭に置きながら、一方では一般缶業界の将来を見据えた取り組みも求められてきています。

新しい動きとしては、中身の入っていない一般缶そのものの価値を消費者に伝えて販売につなげるケース。何を入れるかは、お客様が決めます。一般缶単体での価値創造です。その可能性を追求していく価値は

あると思います。

とはいうものの、圧倒的多数の一般缶は内容物に合わせて仕様が決まっているわけで、その用途に合った機能が求められています。例えば「丈夫さ」とか「内容物が劣化しない」とか。私たちは一般缶の持つ特性としてもっと、その優位性を訴えていきたいわけですが、まだまだ客観的なデータは不足しているし、消費者へのアピールも十分とは言えません。ただ、各企業で十分に対応することは難しいですし、一般缶業界全体でもできることは限られていますので、関連業界を含めての対応を働きかけていこうと考えているところです。

本年も相互扶助の精神を大切に、皆様と共にさまざまな活動を展開していきたいと考えております。

結びに、連合会に関わる会員並びに関係各社の皆様の一層のご活躍とご隆盛を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭所感

「パートナーシップ構築宣言」  
の働き掛け等による  
生産性向上に取り組み

経済産業省製造産業局 金属課長

松野 大輔



はじめに

令和5年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、昨年は経済産業行政に対する深いご理解と格別のご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

我が国にとって、一般缶業界をはじめとする金属産業は、幅広い産業を支えるものづくりの屋台骨です。しかし、足元では資源高や円安等により、厳しい向かい風を受けています。

特に昨年は、ロシアによるウクライナ侵略によって、世界のエネルギー事情が一変し、グローバルなエネルギー需給構造に大きな地殻変動が生じました。そのような中で、我が国は、足元の危機克服とサプライチェーンの強靱化ともに中長期的な課題であるGX推進に向けて併行して取り組んでいく必要があります。

## 2050カーボンニュートラルの実現

気候変動対策は地球規模で取り組まれるべき世界の最重要課題の一つです。我が国の産業部門のCO<sub>2</sub>排出のうち、鉄鋼業は約40%を占めており、CO<sub>2</sub>排出量削減は喫緊の課題となっております。「水素還元製鉄」技術を開発、確立し、社会実装に繋げていくために、グリーンイノベーション基金による支援を開始しています。引き続き、製鉄プロセスの脱炭素化を実現するための研究開発を一層加速化すべく取り組みを強化していきたいと考えております。

## 下請等取引適正化

昨年は、ロシアによるウクライナ侵略等による歴史的な資源価格の高騰が生じ、原料燃料価格の転嫁が金属産業の取引において大きな課題となる中、サプライチェーン全体での取引適正化や、取引条件の改善も一

層重要な課題となっております。

経済産業省としても、昨年に見直しを行った「金属産業取引適正化ガイドライン」を通じて、望ましくない取引慣行の是正や、働き方改革に伴うしわ寄せ防止などに向けた取組を精力的に進めてまいりました。

本年も、関係業界の皆様と連携しながら、個別企業の皆様への「パートナーシップ構築宣言」の働き掛け等を通じ、金属産業をはじめとする製造業全体での生産性向上に向け、一層取組を進めてまいります。  
**おわりに**

本年も経済産業省としては、皆様とも連携しながら、我が国金属産業の成長のために全力を尽くしていく所存です。

末筆ながら、本年の一般缶業界の皆様のご健康と御多幸を、そして我が国金属産業の着実な発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 年頭挨拶 決意をもって 行動する1年に

西日本一般缶工業協同組合 理事長

清水雄一郎



明けましておめでとうございます。

連合会会員並びに賛助会員、関係各社の皆様におかれましては、つつがなく新しい

年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2022年もあつという間に終わり、気が付けば新しい年が始まり、毎年のことですが、時間の過ぎるのは本当に早い実感しています。

昨年はコロナ禍の混乱もある程度、落ち着きを見せ、世の中の企業や一般消費者の経済活動もゆつくりと回復が見られた一年だったように思います。

今年は海外からの旅行者も増加していく傾向で、インバウンド需要も回復して関連企業にとっては失われた3年を取り戻す絶好の機会になりそうです。

しかしながら、連合会員の関連企業も含め、エネルギー・素材等の価格や人件費の高騰という近年稀に見るコストアップの波が押し寄せており、いかにこれらを解決していくかが問われる1年であることも間違いありません。

一難去つてまた一難という状況ですが、「二つ二つ丁寧」かつ「この難局を必ず乗り越える！」といった強い決意をもって行動する一年としたいと思います。

一般缶の「人の役に立つ容器」「人を元気にする容器」という特長で、これからも世の中の役に立ち続けるためにも、難局を乗り越え事業を存続させなければならぬと強く思う次第です。

また、連合会関連企業の全ての根幹であるモノづくりにおいても、しっかりと取り組み、手に取る人の驚きや感動を生む製品の開発に向けて、努力と工夫を続けなければなりません。これまでの自社の歴史に今を生きる我々の発想力を掛け合わせて、未来に向けてさらにモノづくりを深化・発展させていきたいと考えます。

## 年頭挨拶 経済変化に順応し 長所伸ばし 自社発展の年に

中部製罐工業協同組合 理事長

安藤 宏行



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

また、平素は本組合の事業運営に對しまして格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染が長期化する中、行動制限が段階的に緩和され、社会経済活動にも活気が戻ってきました。

しかしながら、中小企業においては、コロナによる様々な影響に加え、円安やウクライナ情勢を背景とした原材料の高騰、労働

者不足、デジタル化、賃上げなど多くの課題に直面しております。

当業界においては、度重なる値上げと過去に例のない材料費等の値上がりの転嫁にご苦労をされたことと推察します。今年もインフレ傾向が続くといわれています。

また、異素材容器との競争や競合他社があるなど、厳しい状況ですが、是非、値上がりの転嫁を実施していただき、事業継続されますこと祈念申し上げます。

改めて、一般缶容器の価値を問われるものとして私たちは、製品の品質等、ブランド力をしっかりと顧客に認めていただかなければなりません。品質管理体制を身の丈ではありますが、しっかりと整え、足りない部分は、互いで助け合い、業界の発展につなげていける年としたいと思います。

本年が皆様にとりまして、ご健勝で一層のご活躍の年となりますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 年頭挨拶 今年「癸卯（みずのとう）」 次へと成長し 明るい世界を期待

全日本金属印刷工業協同組合 会長

中田 正和



明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、ご挨拶をさせていただきます。

昨年を振り返ってみますと、年末「今年の漢字」に『戦』が選ばれたように、とても不穏な1年であったと感じられます。年明け早々の2月にロシアがウクライナに宣戦布告し、突然複数の都市に対してミサイルを発射する等砲撃を開始しました。以来、この年末までの10カ月もの間、戦争状態が

継続している状態です。ウクライナのインフラや民間施設への攻撃も行われ、民間人にたくさん犠牲者が出ています。またウクライナの人々はインフラも止まっている中、厳しい生活を強いられています。この惨状の報道を見るにつけ平和の尊さを感じずにはいられません。日本の周りでは北朝鮮が昨年だけで過去最多となる85発以上のミサイルを発射しました。アメリカを中心とする国際社会が強く出れば出るほど北朝鮮は、より強硬な姿勢を強めてきます。隣国の日本としては安穩としてはられない1年でした。

国内では安倍元総理が奈良で遊説中に銃撃を受け死亡するというニュースが日本国中に衝撃を与えました。更に国葬の問題でも国内が二分されたように感じられました。最近の防衛費のために増税するという岸田総理の考えにも日本国内を真二つに分けた意見が飛び交っています。この先日本はどこへ向かっていくのか非常に不安になります。

そうした暗い雰囲気の下を支えてくれたのは前年に続きスポーツ界の選手たちの活躍です。アメリカ大リーグでは大谷翔平選手が投げては14勝、防御率2・33、打っては34本塁打と見事な活躍ぶりです。日本人に

元気をくれました。年末近くに行われたサッカーのワールドカップ大会では日本代表チームが優勝候補のドイツ、スペインに勝利し、リーグ戦を1位通過という大快挙を挙げ、日本中が歓喜に沸き返りました。スポーツにはこんなにも雰囲気を一変する大きな力があることを改めて思い知ることとなりました。

そんな昨年から続く今年2023年はどんな年になるのかとても気になります。専門機関の予測では、実質GDP成長率は欧米主要国を上回る前年比2%前後とみているところもあります。インバウンド需要の増加も期待でき、日本経済は緩やかに回復傾向にあるものと思われれます。海外の景気減退の影響を受けるリスクもあるもの何となく日本にはがんばってもらいたい年になつてほしいものです。

今年十二支の『卯(うさぎ)年』です。十干では『癸(みずのと)』で合わせて『癸卯(みずのと)』になります。『癸』は十干(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)の順序で言えば最後に当たります。一つの物事が収まり次へ移行していく段階という意味があるそうです。また、『卯』のうさぎはどんどん繁殖する、つまり増えるという意味があります。その両方を備えた『癸卯』は昨年までの様々な問題に区切りがつき、次へと向かって成長していく、明るい世界が広がっていくと解釈が出来そうです。そんな年になることを大いに期待するとともに未来を切り開く努力をしていきたいものです。

本年の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。

## 年頭挨拶 問題山積の中 当たり前の日常を大切に 感謝しながら前進

東京都鉄力地金商業協同組合 理事長

松苗 昭文



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また全日本一般缶工業団体連合会様には長きにわたり、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、2月にロシアがウクライナに軍事侵攻を開始、その後ウクライナへの西側諸国からの軍事支援もあり情勢は益々混沌としてきております。まさに痛ましい戦いの年になりました。この動きに加え北朝鮮のミサイルの脅威も益々高まってきております。またコロナ禍では世界で6億6千万人以上が感染し、670万人以上がこれまでに亡くなつてい

るとの報道がされております。日本でも2千9百万人以上が感染し、5万8千人以上の方が亡くなつているとの事です。そろそろ脱コロナで人間らしい生活を取り戻したいものです。

一方、嬉しいニュースでは2月には冬季

北京オリンピックで過去最高のメダル獲得、パリリンピックでも選手たちは活躍を見せてくれました。また、プロ野球では大リーグの大谷選手が2年連続のMVPは逃したものの二刀流で活躍を見せてくれました。年末にはサッカーワールドカップでは、森安ジャパンが強豪、ドイツ、スペインを破り16強入りを果たし、大いに日本中を沸かせてくれました。

昨年、同様の本稿を記すにあたり、「私たちは目まぐるしい時代の変化にあって、感染症、気候変動といった大きな課題に直面しております。」と申しましたが、今年はその状況に加え、私たちの日々の生活に直結するエネルギー問題、食料問題、核問題、安全保障問題も俄かに頭を擡げて来ているような気がします。問題山積であり、ますます厳しい時代の様相ですが、当たり前の日常を大切に、感謝しながら前に進んで行きたいと思っております。

今年の干支。癸卯(みずのと・う)には「希望があふれ、景気回復、好転する」との意味合いがあるのだとか。新春の箱根路を颯爽と駆け抜け感動を与えてくれた選手たちのように山・谷を駆け抜けゴールできますよう、挑戦あるのみです。

本年も一般缶業界の皆様にとりまして新しい活気溢れる年になりますよう祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



帝京大学黒崎誠客員教授の特別講演

全日本一般缶工業団体連合会

# 「世界を支える日本の中小企業 〜経済の基礎はものづくり〜」をテーマに

全日本一般缶工業団体連合会は令和4年10月26日、東京・千代田区大手町のLEVEL XXI東京會館で「一般缶イノベーションフォーラム2022」を開催し、会員会社など33社・99人が参加した。最上裕光運営委員長が第1部の司会を務め、主催者を代表し廣瀨泰久会長が「昨今の状況は鋼材など諸資材の価格が高騰している中で、当連合会では2度にわたり価格



乾杯の音頭をとる河田缶材 営業部長



主催者挨拶をする廣瀨会長

転嫁に関するアンケートを行った。お客様の業態によっては、むやみに価格転嫁できない企業もあり、それぞれの立場で、きめ細やかな対応が必要であることがアンケートから読み取れた。各社の事情をよく把握して頂きながら、この難局を乗り越えて頂きたい」と挨拶した。第1部は帝京大学 沖永総合研究所客員教授の黒崎誠氏が「世界を支える日本の中小企業〜経済の基礎はものづくり〜」と題する特別講演を行った。続く第2部の交流パーティーでは小西康晴運営副委員長が開会の挨拶を述べたあと、来賓を代表し経済産業省製造産業局金属課長の松野大輔氏が「実は中学生になる私の娘が一般缶のファンで自分の本棚には一般缶がたくさん並べられている。そんな

一般缶は、いろいろな特性があり、金属課が所管する業種の中で非常に異色な業界とされている。一般缶のものづくりには設備や原料等に加えてソフト面が大きい産業です。いま若い女性が一般缶をグッズの入れ物に使っているのがはやっていそうです。一般缶は高品質であり機能面だけでなくソフト面にまで付加価値がついているわけです。最近、金属課では新しい価値を生み出すことについて非常に難しい課題を抱えている。技術的なイノベーションを応援しているが、それだけでは突破口が開けない。ハードだけではなくソフトを含めた総合的なイノベーションで金属産業を新しい成長に向けて育てていかなければと思っています。足もとの課題については一歩一歩サポート



来賓挨拶をする松野金属課長

特別講演のレジュメから

演題

## 「世界を支える日本の中小企業 〜経済の基礎はものづくり〜」



講師  
帝京大学  
沖永総合研究所  
客員教授  
黒崎 誠氏

1. 経済大国への道は中小企業から
  - ・戦後の混乱期を乗り越える
  - ・高度成長を支える
  - ・世界2位の大国へ
2. 中小企業は日本経済の中核
  - ・大企業は0.3%
  - ・GDP、雇用は大企業を上回る
  - ・地域経済を支える
3. 今でも絶えない偏見
  - ・中小企業は生産性が低い？
  - ・中小企業縮小論
  - ・世界の潮流は中小企業育成
4. 中核産業を支える
  - ・世界トップの自動車、ロボット
  - ・世界の原油、LNGを運ぶ
  - ・ニッチ分野の世界トップ
5. 先端産業も
  - ・新幹線とリニア
  - ・はやぶさは中小企業で作った
  - ・世界2位のノーベル賞受賞国
6. ものづくりが支える日本経済
  - ・日銀短観の指標
  - ・強さを示した22年決算
  - ・困難を乗り越えて
7. 強い企業の特徴
  - ・特色その1
  - ・特色その2
8. 終わりに

## 合同部会を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和4年11月16日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で合同部会を開催した。出席者は6人。

### 1 全国流通委員会・部会協議会報告

事務局から全日本一般缶工業団体連合会が令和4年7月22日に開催した全国流通委員会・部会協議会での缶種別グループ討議内容を報告した。

### 2 第3次鋼材値上げのアンケート結果

事務局から同連合会が実施した「原材料等値上がりに伴う価格転嫁動向調査」の集計結果並びに経済産業省金属課と大手鉄鋼メーカー3社へ報告した旨を説明した。

### 3 鋼材動向に関する情報交換及び近況報告

第一次、第二次を経て第三次の鋼材及び副資材等の値上げ動向と価格転嫁への対応について、各社から報告は以下の通り。

- 第1次、第2次の鋼材値上げの価格転嫁は進んでいる。
- 第3次の動向と対応等については、今後自社の取り組む方向性を聞いたが、各社それぞれの対応に苦慮、値上げの金額が大きい。
- 価格転嫁ができなければ命取りになりかねないので、他素材への移行やむなしの覚悟で転嫁に取り組んでいる。
- 売り上げは本年100%を超えているが、昨年(約90%台)との比較でコロナ禍前までには戻っていない。
- ここ数年、営業としては鋼材値上げに伴う価格転嫁をお願いしており、毎年こればかり行っている。
- 組合員会社が多数会議に参加することで、本当の意味での情報交換として協力体制ができると思っている。



合同部会に参加の皆さん

## 西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は令和5年1月10日、大阪市梅田のホテルグランヴィア大阪で新春の組合互礼懇親会を開催し、組合会社など9人が出席した。

清水雄一郎理事長は冒頭「明けましておめでとうございます。2022年があつたという間に過ぎ1年が早いと感じている。今年は鋼材値上げで苦しい経営の1年になるかもしれない。値上げへの対応で企業として続けて行くということが一番大事なことで、決意をもって進んでもらいたい。難しい局面だが、世の中も明るくなって来ていると感じている。値上げについては、やり遂げていかなければいけないことを踏まえ、業界全体として色々な面での対応が必要だ。皆様にご協力いただくとともに情報交換しながら進めて行きたい」と挨拶した。

次いで清水理事長の音頭で乾杯し、懇親に移った。最後に中山裕文監事が閉会の挨拶を行い盛会裡に散会した。

### 組合新春懇親会 リアルで開催

させて頂き皆様のお役に立てるよう頑張っていきたい」と挨拶した。続いて乾杯の発声に立った東洋鋼板株式会社缶材営業部の河田浩志部長が「この数年はコロナ禍で様々な活動が制限されており、水際対策も緩和され数多くの外国人観光客も来日され少しずつ活気を取り戻してきた感がある。コロナ収

束後に訪れたい国のナンバーワンが日本だと聞いているが、これは日本の文化やものづくりが世界に認められているからだと思う。私も時々、手土産を買いに百貨店の贈答用コーナーで新しいデザインの缶を見つけると非常に楽しんでいる。中身が主役なのがある。美しくて魅力的な缶があ

ると中身の価値が何倍にも高まると思う。贈られる側もハッピーな気持ちになる、素晴らしい缶が一つでも多く店頭に並ぶことを心から祈っている。私も材料メーカーは缶の価値が上がるよう努力していく」と挨拶した。歓談のあと、清水雄一郎副会長が中締め

### 講師プロフィール

#### 黒崎 誠氏

(くろさき まこと)

1944年群馬県生まれ。時事通信社で経済部一筋の経済記者。宮崎支局長、福島支局長を経て1994年編集委員、2000年解説委員。2004年に同社を退社。帝京大学経済学部専任講師、2006年准教授、2008年教授。2016年から大学院教授も兼務。2018年沖永総合研究所客員教授。主な著書『世界を制した中小企業』(講談社現代新書)、『世界に冠たる中小企業』(講談社現代新書)、『起業家の条件』(平凡社新書)等。

## 4S会会議を開催

4S会会議は令和4年10月13日、兵庫県尼崎市のホテルヴィスキオ尼崎において、新型コロナ禍ではあったが、対面で開催された。

関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合と西日本クラウンズ会から19名が出席した。

第1議題では、各組合の業界状況と関連諸問題について話し合われた。西日本一般缶工業協同組合の清水理事長から同組合の状況報告と一般缶の売上実績、直近の業況について話し合われた。

第2議題では、各業界における課題、問題点について、特に新型コロナ禍の中で各業界、各社の動向が以下の通り報告された。



4S会会議風景

- 値上げの改訂時期は菓子メーカーの値上げ時期などのタイミングを計る必要がある。
- 値上げに全く応じないというわけではないが、段階を踏む必要がある。
- 値上げに関して転嫁しきれないなら売上アップしても収益減となる。
- SDGs に関して金属缶の対応が必要。金属缶からプラスチック・紙容器への移行もあるが、紙の価格も上がっているため金属缶で対応できないかと考えている。
- コストアップ問題と同時に人手不足に直面している。ハローワークオンリーで採用活動していたが応募者がいない。
- 採用条件も上げているが、反応がなく、厳しい状況を実感。
- 中堅と新人の給与差が無くなっているのが気にかかる。
- 採用については、有料募集にしたら応募者は増えた。工場向け人材派遣ないし募集サイトを利用している。

以上の通り、各社、各業界の課題が顕在化しており、確実に課題解決していくことが重要となっている。各組合員業界も厳しい状況の中で引き続き情報交換し、協力していくことを確認し会議を終えた。

## 全日本一般缶工業団体連合会

## 第45回全国流通委員会部会協議会ZOOM開催

### 鋼材値上がりに伴う 価格転嫁等の取組事例等に つき活発なグループ討議

全日本一般缶工業団体連合会は令和4年7月22日、Zoomを活用して第45回全国流通委員会・部会協議会を開催した。今回は東日本組合の当番で東日本組合、西日本組合、中部組合から21人が参加した。

最初に清水雄一郎副会長が開会の辞を述べ、廣瀨泰久会長が挨拶した。次いで全体会議に移り、3組合代表による近況報告ののち、鋼材値上がりに伴う価格転嫁等の取組事例について、水戸部製缶(株)水戸部伸寿社長、大阪製罐(株)清水雄一郎社長、日東製罐販売(株)安藤宏行社長の3氏から報告された。

続いて缶種別に「食品・雑貨系」を2グループ、「化学・薬品系」を1グループに分けて、鋼材・印刷・副資材・エネルギー等のコストアップに対する自社の取組内容（価格転嫁、経費削減、営業の新規開拓、付加価値向上のPR活動等）について討議が行われた。

このあと「食品・雑貨系」Aグループ長の大阪製罐(株)石橋寿恵夫専務取締役、「食品・雑貨系」Bグループ長の金方堂松本工業(株)福室義昭営業統括部長、「化学・薬品系」Cグループ長の最上CAN(株)最上裕光社長から討議結果がそれぞれ報告された。

最後に「鋼材第3次値上げに対する各社の対応と今後の連合会としての取組」についての情報交換が行われ、安藤宏行副会長が閉会の辞を述べ終了した。

## 大阪府中央会会長表彰受賞

西日本一般缶工業協同組合

清水雄一郎理事長  
小西康晴副理事長

令和4年9月15日、大阪府大阪市中央区のマイドーム大阪で開催された大阪府中小企業団体中央会会長表彰式で多年、組合の経営に尽力され組合発展に貢献された功績により、西日本一般缶工業協同組合の清水雄一郎理事長、小西康晴副理事長が同会の野村泰弘会長から表彰状が授与された。

## 東京都中央会会長表彰受賞

東日本一般缶工業協同組合

竹内雅夫副理事長

令和4年10月12日、東京都中央区の銀座ブロッサム中央会館で開催された東京都中小企業団体中央会会長表彰式で多年組合の向上発展に寄与した功績により、東日本一般缶工業協同組合の竹内雅夫副理事長が同会の會津健会長から表彰状が授与された。



喜びの竹内雅夫副理事長

## 「エコプロ2022」に 共同出展



一般缶(スチール缶)のエコを学ぶ子供たち

全日本一般缶工業団体連合会は令和4年12月7日から9日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ2022」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

当ブースの一般缶コーナーでは、会員各社から提供された一般缶を展示。また、金属印刷の流れについて説明したパネルのほか、さらに連合会のDVD『人の技と夢が詰まった「一般缶」の中の「一般缶と3R(スリール)」とスチール缶リサイクル協会のDVD『無制限リサイクルの秘密』を合体させたビデオをエンドレスで上映した。

なお、会期中の来場者数は初日が21,411人、2日目が21,768人、最終日が18,362人で総来場者数は61,541人でした。

この展示会を通じて「リサイクルの優等生である一般缶(スチール缶)」の良さをアピールした。

## 技と食の祭典 「組合まつりin TOKYO」に出展

### スチール缶の 高リサイクル率(2021年度93.1%)をアピール

東日本一般缶工業協同組合は令和5年1月18日・19日に東京国際フォーラムホールEで開催された東京都中小企業団体中央会主催の技と食の祭典「組合まつりin TOKYO」に出展した。来場者は2日間で8,200人。

出展ブースには「世界に発信。スマートなニッポンの一般缶」「一般缶(スチール缶)でSDGs(持続可能な開発目標)に貢献しよう」を掲げたパネルと組合員から提供された一般缶を展示した。来場者には一般缶リーフレットと一般缶ノベルティ「ミニ蝶番缶」を手渡した。

世界屈指の高リサイクル率(2021年度93.1%)

を誇り、環境に優しく、循環型社会に貢献している一般缶(スチール缶)を広くアピールし、販路拡大等を目指した。



出展ブースの様子



主催者挨拶をする  
小池百合子東京都知事

### 令和4年6月～11月までの 一般缶生産出荷実績

(単位:t)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
経済産業省データ	4.6	4,213 (4,557)	4,153 (4,556)	21 (2)	10,535 (9,893)
	7	4,934 (4,277)	4,787 (4,204)	1 (2)	10,687 (9,957)
	8	3,993 (3,995)	3,901 (3,685)	24 (20)	10,763 (10,249)
	9	4,561 (4,666)	4,348 (4,403)	21 (1)	10,968 (10,518)
	10	5,479 (5,080)	5,049 (5,030)	2 (1)	11,414 (10,560)
	11	5,673 (5,402)	5,947 (5,576)	2 (18)	11,149 (10,357)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
連合会データ	4.6	3,025 (2,894)	3,004 (2,930)		7,234 (7,140)
	7	3,176 (2,868)	3,123 (2,921)		7,333 (6,984)
	8	2,993 (2,817)	2,880 (2,562)		7,394 (7,176)
	9	3,246 (2,988)	3,051 (2,813)		7,525 (7,302)
	10	3,414 (3,292)	3,367 (3,282)		7,499 (7,280)
	11	3,727 (3,549)	3,910 (3,702)		7,529 (7,104)

( )内は前年同月実績  
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載



### 日本製鉄株式会社

代表取締役社長 橋本英二  
東京都千代田区丸の内二一六一  
電話 〇三(六八六七)四一一  
FAX 〇三(六八六七)四九九六

### JFEスチール株式会社

代表取締役社長 北野嘉久  
東京都千代田区内幸町二二二一三  
電話 〇三(三五九七)三一一一

### 東洋鋼板株式会社

代表取締役社長 田辺敏幸  
東京都品川区東五反田二一八一  
大崎フオレストビルディング  
電話 〇三(四五三二)六八五〇  
FAX 〇三(三三二八)八一六〇

### 日本製罐株式会社

代表取締役社長 松田豊彦  
埼玉県さいたま市北区吉野町 二二二七五  
電話 〇四八(六六五)二二五二  
FAX 〇四八(六六五)九〇三一

### 全日本一般缶工業団体連合会

会長 廣瀨 泰久  
副会長 清水雄一郎  
副会長 安藤 宏行  
東京都台東区浅草橋五二四一五  
電話 〇三(五八〇九)三二七五〇二

### 東日本一般缶工業協同組合

理事長 廣瀨 泰久  
東京都台東区浅草橋五二四一五  
ハシモトビル五〇二  
電話 〇三(五八〇九)三二七五〇二  
FAX 〇三(三八六四)〇九一一

### 西日本一般缶工業協同組合

理事長 清水雄一郎  
大阪府大阪市北区天神橋  
二一四一七 千代田第一ビル  
電話 〇六(六三三三)一九七三  
FAX 〇六(六三三三)一九六七

### 中部製罐工業協同組合

理事長 安藤 宏行  
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五一)五六六一  
FAX 〇五六四(五一)五六三三

### 全日本金属印刷工業協同組合

会長 中田 正和  
東京都墨田区業平一二二六  
本所ビル二階  
電話 〇三(三六二六)二四一一  
FAX 〇三(三六二六)二五〇二

### 東京都鍼力地金商業協同組合

理事長 松苗 昭文  
東京都中央区日本橋大伝馬町一七  
電話 〇三(三六六三)八三五七  
FAX 〇三(三六六三)八三五八

### 株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 廣瀨 庄一郎  
東京都墨田区石原二二八一一  
電話 〇三(三六二五)一六八〇  
FAX 〇三(三六二五)一六八八

### 金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 松本 旭央  
東京都台東区東上野一二八一一二  
電話 〇三(三八三一)一九九九  
FAX 〇三(三八三一)七一四四

### 江戸川製罐株式会社

代表取締役 岩田 明義  
東京都江戸川区平井五二四六一九  
電話 〇三(三六一二)四一三一  
FAX 〇三(三六一七)五〇三四

### 工又工金属工業株式会社

代表取締役社長 中田 則彦  
茨城県つくば市緑ヶ原四一六  
電話 〇二九(八四七)七二二〇  
FAX 〇二九(八四七)六七七九

### 株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮 芳次郎  
千葉県野田市上三ヶ尾二六一  
電話 〇四(七二五)二二六一  
FAX 〇四(七二五)三六三七

### 杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦 由記夫  
茨城県守谷市百合ヶ丘 一一四八〇七  
電話 〇二九七(四八)二五五二  
FAX 〇二九七(四八)二五五二

### 水戸部製缶株式会社

代表取締役社長 水戸部 伸寿  
東京都千代田区神田和泉町 一一三一一  
電話 〇三(三八六六)一一六八  
FAX 〇三(三八六六)二三八八

### 大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水雄一郎  
大阪府東大阪市岩田町二一三二八  
電話 〇六(六七二二)五五四五  
FAX 〇六(六七二五)三四七〇

### 生野金属株式会社

代表取締役 小西 康晴  
大阪府高石市高砂三二二四  
電話 〇七(二二六八)〇七七七  
FAX 〇七(二二六八)〇七八二

### 株式会社ゼンユー

代表取締役社長 砂川 秀樹  
大阪府大阪市淀川区加島 四一〇一四四  
電話 〇六(六三〇九)四〇三一  
FAX 〇六(六三〇二)二一〇〇

### エース精器株式会社

代表取締役 有山 健一  
大阪府東大阪市西石切町 六一六一一四  
電話 〇七(二九八二)一〇八一  
FAX 〇七(二九八二)一〇六七

### 江戸川製罐工業株式会社

代表取締役 渡邊 静雄  
大阪府大阪市鶴見区今津北 一一七一三八  
電話 〇六(六九六八)六七六一  
FAX 〇六(六九六二)三二五八

### 奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村 清司  
京都府綴喜郡井手町大字多賀 小字西松ヶ花一  
電話 〇七七四(八二)二〇七八  
FAX 〇七七四(八二)四三二四

### 下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮 正裕  
大阪府堺市堺区南島町三丁一三一  
電話 〇七(二二三)八二二〇  
FAX 〇七(二二三)八一四〇

### 光工業株式会社

代表取締役社長 吉田 龍一  
広島県東広島市志和町冠 一六五一一  
電話 〇八(四三三)五四〇一  
FAX 〇八(四三三)五四五三

### 日西製罐株式会社

代表取締役社長 矢谷 満里子  
大阪府大東市御領三一五一二〇  
電話 〇七(二八七四)〇九七一  
FAX 〇七(二八七五)四二五二

### 三国金属工業株式会社

代表取締役社長 板垣 毅  
大阪府豊中市豊南町西四一七二一〇  
電話 〇六(六三三三)〇二五一  
FAX 〇六(六三三三)〇二五五

### 明和金属工業株式会社

代表取締役 渋谷 剛志  
大阪府高石市取石七二五二一六  
電話 〇七(二二七四)二二〇一  
FAX 〇七(二二七四)六三六五

### 山雄製缶工業株式会社

代表取締役 山本 浩之  
大阪府大阪市北区大淀中 五一一一一四  
電話 〇六(六四五一)五一四一  
FAX 〇六(六四五一)〇八二二





**中村商事株式会社**  
代表取締役社長 中村 定  
東京都千代田区神田和泉町一丁目七  
電話 〇三(五六八七)五九一一  
FAX 〇三(五六八七)六一五五

**東都金属印刷株式会社**  
代表取締役 菅谷 誠一  
千葉県船橋市小野田町二五二一三  
電話 〇四七(四五七)五四六一  
FAX 〇四七(四五七)七二三八

**株式会社N・P・W技研**  
代表取締役社長 山本将之  
三重県伊勢市佐八町八九四  
電話 〇五九六(三九九)一一三三三  
FAX 〇五九六(三九九)一一三六六

**株式会社 神 光**  
代表取締役 小河朋久  
大阪府吹田市南正雀一丁目二八一一  
電話 〇六(六三八)四四六六  
FAX 〇六(六三八)六〇一一

**有限会社山野初製缶所**  
代表取締役 木下 光美  
大阪府八尾市太田七一一〇  
電話 〇七二(九四八)〇五五八  
FAX 〇七二(九四八)二八五五

**明邦鋼業株式会社**  
代表取締役社長 酒匂 博之  
埼玉県越谷市新川町一丁目四五  
電話 〇四八(九八七)〇七〇一  
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

**富安金属印刷株式会社**  
代表取締役 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二五)一五八一  
FAX 〇四八(九二八)二六二〇

**松本金属工業株式会社**  
代表取締役 松本 勝俊  
大阪府大阪市北区天満二丁目二一八  
電話 〇六(六三三)〇九四一  
FAX 〇六(六三三)九四四九

**西部容器株式会社**  
代表取締役 川島 大吾  
大阪府摂津市別府二丁目三一八  
電話 〇六(六三三)一六五一  
FAX 〇六(六三三)七二二八

**株式会社ライトハウス金属工場**  
代表取締役 岩橋 徹  
大阪府大阪市鶴見区今津中  
電話 〇六(六九六)〇四四一  
FAX 〇六(六九六)二二九八

**スチールリーフ株式会社**  
代表取締役社長 茂木 孝之  
東京都葛飾区亀有五丁目八一一五  
電話 〇三(三六二)〇八〇三〇  
FAX 〇三(三六二)〇八〇六〇

**二橋プリント株式会社**  
代表取締役 二橋 英之  
埼玉県三郷市彦川戸一丁目三八一六  
電話 〇四八(九五三)二二六六  
FAX 〇四八(九五三)五四二二

**株式会社井上博商店**  
代表取締役社長 井上 歩美  
大阪府大阪市住吉区万代東  
電話 〇六(六六九)一一二二五  
FAX 〇六(六六九)一一二二七

**株式会社 愛罐コーポレーション**  
代表取締役 桑田 敬士  
東京都渋谷区本町二丁目三九一四  
電話 〇三(五三〇)四五五一  
FAX 〇三(五三〇)四五五一

**日東製罐販売株式会社**  
代表取締役社長 安藤 宏行  
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五二)一五六一  
FAX 〇五六四(五二)一五六三

**エイコー株式会社**  
代表取締役 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二二)八三七三  
FAX 〇四八(九二二)八三七五

**株式会社 城北磁力印刷工業所**  
代表取締役 竹腰 忠臣  
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一一  
電話 〇四七(一九八)二六一一  
FAX 〇四七(一九八)二七七九

**JFE商事プリキセンター株式会社**  
代表取締役 谷口 充浩  
大阪府大東市新田旭町六一一  
電話 〇七二(八七〇)九七三二  
FAX 〇七二(八七〇)九七三〇

**大貫金属工業株式会社**  
代表取締役 大貫 雄一  
東京都葛飾区東新小岩  
電話 〇三(三六九)六一七九  
FAX 〇三(三六九)六一七九

**高野興業株式会社**  
代表取締役 高野 康弘  
東京都墨田区本所一丁目一三  
電話 〇三(三六三)一一一六六  
FAX 〇三(三六三)六二六四

**株式会社 M O B Y**  
代表取締役 宮内 太  
千葉県市川市塩浜一丁目一四  
電話 〇四七(三〇六)〇二一〇  
FAX 〇四七(三〇六)〇二一九

**株式会社江連金属印刷所**  
代表取締役 江連 一  
千葉県松戸市上本郷八一  
電話 〇四七(三六二)〇一三五  
FAX 〇四七(三六二)八七一五

**是松鋼商株式会社**  
代表取締役社長 是松 一郎  
大阪府東大阪市楠根二丁目六一三  
電話 〇六(六七四)二三六一  
FAX 〇六(六七四)〇四〇〇

**株式会社 セゾン保険サービス**  
代表取締役社長 富岡 勝巳  
東京都豊島区東池袋四丁目一一九  
電話 〇三(三九八)三三〇七  
FAX 〇三(三九八)六九八四

**富安株式会社**  
代表取締役兼社長執行役員 田川 正之  
東京都墨田区太平四丁目一五  
電話 〇三(五六一)七七七〇  
FAX 〇三(五六一)七七六〇

**大成ブリキ印刷株式会社**  
代表取締役社長 中田 正和  
茨城県稲敷郡河内町長竿  
電話 〇二九七(八六二)二〇一  
FAX 〇二九七(八六二)四二〇

**新里機工株式会社**  
代表取締役 金澤 幸一  
埼玉県川口市東領家四丁目一  
電話 〇四八(二九九)九〇九七  
FAX 〇四八(二九九)九〇九八

**三幸商事株式会社**  
代表取締役社長 武田 有広  
大阪府大阪市西区北堀江  
電話 〇六(六五四)九三三一  
FAX 〇六(六五四)三五八八

**千代田第一工業株式会社**  
代表取締役社長 鈴木 信夫  
東京都狛江市岩戸北三丁目一一九  
電話 〇三(三四八)四二一一  
FAX 〇三(三四三)〇四三七

**東日本一般缶工業協同組合**  
**C P S M 会**

令和4年11月22日千葉カントリークラブで第71回C P S M会を開催した。参加者は19人。  
上位入賞者は次の通り。

優勝	菊井洋祐氏 (富安金属印刷)	41	40	81	14	67
二位	高野康弘氏 (高野興業)	47	49	96	20	76
三位	二橋英之氏 (二橋プリント)	45	45	90	14	76
シニア枠	松村善治氏 (松村製罐)	54	43	97	13	84

今回は令和5年4月5日に開催予定。

**西日本一般缶工業協同組合**  
**缶友会ゴルフ会**

令和4年10月18日奈良県の奈良国際ゴルフ倶楽部で、晴天の下、第159回のゴルフ会を開催した。



上位の入賞者は次の通り

優勝 馬場康之氏 (ゼンユウ)

47	42
14.4	74.6

二位	小西康晴氏 (生野金属)	54	51	30.0	75.0
三位	安田利夫氏 (井上博商店)	45	46	14.4	76.6

今回は令和5年5月に行う予定。

**令和4年8月から  
令和5年1月までの行事**

**東日本一般缶工業協同組合**

令和4年  
8/22 東京中央会  
「消費税インボイス制度説明会」

9/2 第2回理事会(ハイブリッド)  
9/14 東京中央会「令和4年度  
上期情報連絡員報告会」  
9/26 事務局長協会「総務部会」  
(Zoom)

9/29 東京中央会  
「中小企業トップセミナー」

10/12 東京中央会  
「令和4年度会長表彰式」

10/14 事務局長協会「情報交換会」

10/20 全国組合士協会連合会  
「第1回オンラインセミナー」  
(Zoom)

10/25 C P S M 会会議  
10/28 東京中央会

11/2 「組合職員等ステップアップ  
講習会」

11/7 全国組合士協会連合会  
「スキルアップ研修会」

11/16 東京都経営支援課  
「令和4年度団体情報連絡会」  
(Zoom)

11/22 商工中金押上支店  
「インボイス制度研修会」  
(Webx)

11/24 第71回C P S M 会  
東京都鉄二健保組合

11/25 「第506回理事会」  
令和4年度  
11/30 関東甲信越静岡ブロック組合士  
協議会「全体研修会」  
「第3回理事会」

12/1 全国組合士協会連合会  
「第3回理事会」

12/7 東京中央会「新年賀詞交歓会」

1/12 正副理事長会議

1/18 東京中央会  
「組合まつり in TOKYO」

1/23 臨時理事会(ハイブリッド)

令和4年  
8/5 役員会

9/15 大阪府中央会大会  
10/13 4 S 会会議

10/18 缶友会ゴルフ

11/16 合同部会

12/2 役員会

令和5年  
1/10 組合新春懇親会

1/25 合同部会・技術交流会会議

全日本一般缶工業団体連合会

令和4年  
9/2 第1回全日本一般缶  
P R 活動推進協議会(Zoom)

9/5 経済産業省金属課  
「令和4年度一般缶業況ヒアリング」  
(Team)

9/7 エコプロ2022出展者説明会  
(オンライン)

9/12 三役「大手鉄鋼メーカー」回り  
10/6 スチール缶連絡協議会  
エコプロ2022

10/12 「出展ブースWG会議」

10/19 「一般缶イノベーションフォーラム  
2022」

10/26 第2回運営委員会議(Zoom)  
一般缶イノベーションフォーラム  
2022

10/31 エコプロ2022  
「出展ブースWG会議」

12/2 エコプロ2022  
「出展ブースWG会議」

12/7 鉄鋼製品団体協会  
「施設見学会」

令和5年  
1/11 三役「年始挨拶回り」

1/26 スチール缶連絡協議会

令和5年2月から  
7月までの行事予定

**東日本一般缶工業協同組合**

令和5年  
2/1 第42回優良従業員表彰式  
事務局長協会

2/22 「令和5年新年交流会」

3/17 第4回理事会

3/22 「小規模事業者持続化  
支援事業」報告会

3/28 事務局長協会  
「第67回定期総会」

4/5 第72回C P S M 会  
監事会

4/7 第1回理事会(ハイブリッド)

4/19 組合士協会「通常総会」

5/18 第45回通常総会

5/19 東京中央会「第71回通常総会」  
全国組合士協会連合会  
「通常総会」

6/9 「令和5年度全国中小企業  
組合士フォーラム」

西日本一般缶工業協同組合

令和5年  
3/23 役員会

4月上旬 4 S 会ゴルフ  
5月中旬 缶友会ゴルフ  
5/23 第55期定時総会  
6/8 合同部会  
8/4 役員会

**全日本一般缶工業団体連合会**

令和5年  
2/6 臨時理事会(役員会)(Zoom)

3/17 第2回理事会(役員会)

3/17 全日本一般缶  
P R 活動推進協議会

5/19 会計監査

5/25 第1回理事会(役員会)

6/8 第45回定時総会

6/8 第1回全日本一般缶  
P R 活動推進協議会

6/8 第46回全国流通委員会  
部会協議会

7/14 一般缶イノベーションフォーラム  
2023

**組合伝言板**

《代表者交代》

(東日本組合員)  
赤羽製罐(株) 代表取締役社長 藤本朋子氏  
令和5年1月

赤羽製罐(株) 代表取締役会長 藤本雅昭様 逝去  
令和5年1月13日

《お悔やみ》

令和5年1月13日  
赤羽製罐(株)代表取締役会長 藤本雅昭様 逝去

